

## 特別支援学校技能検定実施事業

特別支援教育課

## 1 目的

特別支援学校高等部に通う知的障がいのある生徒の「働きたい」願いを実現するため、企業や関係団体と連携して特別支援学校技能検定を取り入れることにより、就職への意欲を高め、低迷する就職率を引き上げ、卒業後の社会自立・社会参加を目指す。

## 2 現状

長野県の就職率	全国就職率
23.7% (令和4年度)	21.0% (令和3年度) 文部科学省より

- ・高等部3年生で技能検定を受検した生徒の就労率は増加した。  
(R2: 43人 37.3% → R3: 65人 50.7% → R4: 43人 51.8%)
- ・製造業 (31%→41.3%)、サービス業 (32.7%→33.7%)、卸売・小売業 (14.4%→19.3%) とそれぞれ増加した。

## 3 令和5年度の特別支援学校技能検定の部門について

清掃部門では、「テーブルふき」「自在ほうき」「モップ」「スクイジー」の4種目、喫茶サービス部門に加え、令和3年度から衛生管理や安全管理ができ、食品関係会社や医療・福祉関係会社へ就労できる力を育むことが期待できる食品加工部門を拡充し、外部講師による指導及び評価の場を設定した。

- ・特別支援学校技能検定「清掃部門」を、知的障がいの特別支援学校12校で実施（予定）
- ・特別支援学校技能検定「喫茶サービス部門」を、9校で実施（予定）
- ・特別支援学校技能検定「食品加工＜基礎＞部門」を4校で実施（予定）
- ・企業に外部講師を依頼し、生徒の就労への意欲や興味関心を高める学習を進めると共に、当日のボランティアや会場については地域資源を活用
- ・「清掃部門」「喫茶サービス部門」「食品加工＜基礎＞部門」の特別支援学校技能検定を実施し、プロからの評価を受けることで自己肯定感を高める経験を積み、次の活動へ挑戦する意欲をはぐくむと共に、障がい者雇用に関心ある企業へ就労コーディネーターや関係機関を通して、特別支援学校技能検定の参観を周知

## 4 令和6年度の事業（予定）

- ・特別支援学校技能検定大会「喫茶部門」「食品加工＜基礎＞部門」参加校を計12校（含分教室）へ
- ・清掃部門の検定に向けた学習を本校13校（1校増）と分教室8教室の計21箇所で開催
- ・喫茶サービス部門の検定に向けた学習を本校・分教室含めて11箇所で開催
- ・食品加工部門の検定に向けた学習を本校・分教室含めて5箇所で開催